

令和 8 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 9	学校名	県立友部特別支援学校										学校長名	鈴木 和子				
副校長名							教頭名	安達 美代子						事務（室）長名	上野 潤子			
教職員数	教 諭	66	養 護 教 諭	3	常 勤 講 師	9	非 常 勤 師	1	実 習 助 手	2	寄 宿 舎 指 導 員	12	事 務 職 員	3	技 術 職 員 等	13	計	112
幼児・ 児童・ 生徒数	部	1 年 (3 歳 児)		2 年 (4 歳 児)		3 年 (5 歳 児)		4 年		5 年		6 年		合計		合計 クラス数		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
	幼稚部																	
	小学部	9	0	5	1	4	2	6	3	9	3	11	5	44	14	14		
	中学部	16	4	9	3	12	5							37	12	11		
	高等部	8	6	10	5	15	5							33	16	9		
	専攻科																	
														小計	114	42	34	
														合計	156			

2 目指す学校像

- ◆明るく楽しさみなぎる学校
- ◆力いっぱい活動できる学校
- ◆家庭や地域に開かれた学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・隔年で実施している体育的行事、文化的行事については、授業の延長上に位置づけて実施できるよう、各部・学年で工夫しながら計画を進めた。児童生徒が活躍できる場を設定し、児童生徒が達成感・満足感を味わうことができた。 ・常に意見交換のできる風通しの良い職場環境を目指している。各自が責任をもって職務に当たるとともに、報告、連絡、相談を徹底することで、組織で課題解決に取り組む体制を構築している。 ・校務分掌の内容や課題を把握し、効率化等について検討・改善を行うことで、働き方改革を進めてきた。全体としては、各自が勤務時間を自己管理しながら業務を進めることができています。 ・学校運営協議会が設置され、学校からの情報発信と校外資源の活用両面に取組むことができた。授業づくりにつながるような地域資源を発掘するとともに、保護者への取組みの発信を行ってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と教職員が一体となって、学校行事のあり方を検討し、理解と協力を得ていくこと。 ・責任をもって職務を遂行する職員が団結、協力することで、よりよい学校が作られていくという意識を高めていくこと。 ・目的を明確にし、前例にとらわれない大胆な働き方改革を進めていくこと。 ・開拓した地域資源を活用するとともに、継続可能なあり方を模索し、児童生徒が地域で生き生きと活躍できる場を拡大していくこと。
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学校研究として授業づくりに全教職員で取り組んだ結果、各教科の「見方・考え方」を押さえ、「育てたい資質・能力」を明確にすることで、各教科と自立活動との関連を捉えて、授業づくりに活かしていくことができた。 ・障害の多様化や家庭環境を背景とした支援の難しいケースもあるが、学校、寄宿舎、家庭、関係機関等の連携を密に取りながら進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「各教科で育む資質・能力」をどのように育成するかを単元全体をとおして計画する力の向上を図ること。 ・各家庭と学校が連携し、地域資源を活かすことで、児童生徒の支援方法の充実を図ること。

4 中期的目標

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 安心・安全・信頼される教育環境と危機管理体制の整備 2 子どもの実態や多様性を理解し、個に応じた自立と社会参加を目指すキャリア教育の推進 3 学校教育環境の変化を的確に捉え、新しい知識や技能を学び続けることによる資質能力や専門性の向上 4 学校と地域が連携・協働の視点を持ち、地域とともにある学校づくりの推進 |
|---|

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 一人一人が学ぶ楽しさを実感できる授業づくりの推進	① 各教科等における育てたい力を明確にし、「できた」、「わかった」、「もっとやってみたい」と感じる単元づくり、授業づくりの推進
	② 各教科等において育まれる資質・能力を支える自立活動の指導目標や指導内容の適切な評価及び改善
	③ ICTの効果的な活用と教師間の情報共有、職員研修の実施
2 一人一人の障害の状態に応じた自立と社会参加を目指す教育の推進と地域に開かれた学校づくり	④ 卒業後の視点を踏まえた小学部・中学部・高等部の系統性のあるキャリア教育の推進
	⑤ コミュニティ・スクールの活用による創意工夫を生かした教育活動の充実 (学びの充実、豊かな心の育成、地域への愛着、地域の担い手としての自覚を育成)
	⑥ 全校あいさつ運動の実践(あいさつマイスターの認定)
	⑦ 教員の専門性向上に向けた各種研修の実施と多様なニーズに対応するための地域との連携構築の取り組みによるセンター的機能の充実(ととくインクル)
3 自分の体や健康への関心を高め一人一人の体力の向上と豊かな心の育成	⑧ 自分自身の良さや可能性を知るとともに、相手の考えを尊重し、人を思いやることのできる豊かな心の育成
	⑨ 専門家や保護者と連携した安全・安心な給食と食育、健康教育の推進
	⑩ 児童生徒が主体的に取り組む防災安全教育の計画的な実施
	⑪ けがや病気をしない丈夫な体づくり、体力づくりと衛生面の意識向上
4 安全・安心な教育環境の整備と保護者、地域、関係機関との信頼関係の醸成	⑫ 児童生徒が安心して学習や生活ができる教育環境(施設設備等)の整備
	⑬ 児童生徒及び教職員の事故防止に向けたヒヤリハット事例の共有、各種マニュアルの見直し・改善による危機管理体制の充実
	⑭ 服務規律の確保とコンプライアンス意識のさらなる向上を目指したボトムアップ型研修の計画的な実施
	⑮ 学校教育活動の公開やHP等を利用した情報発信
5 働き方改革	⑯ 時間の使い方についての意識改革と勤務時間の適正管理
	⑰ 校内業務の見直し、削減、効率化(ICT活用を含)を図ることによる、児童生徒への授業づくりの充実